

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【公開番号】特開2015-97695(P2015-97695A)

【公開日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-035

【出願番号】特願2013-239649(P2013-239649)

【国際特許分類】

A 6 1 L 9/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 9/12

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月18日(2016.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は以上のような事情に鑑みてなされたものであり、簡易な装置構成により、複数種の芳香を確実に放出させることができる芳香装置を提供することを目的とするものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記課題を解決するために、本発明に係る芳香装置は、複数種の香料を個別に収容可能でかつ、それぞれが芳香を外部に放出する放出口を有する複数の香料容器と、前記複数の香料容器それぞれを個別に着脱可能に収容する香料容器収容室と、前記香料容器収容室に収められた前記複数の香料容器の夫々について個別に、前記放出口を塞ぐ閉塞状態と前記放出口を開設させる開放状態とを作出可能な香料放出機構と、前記複数の香料容器の前記放出口に対する送風を行なうために共通して設けられた、1つの送風用モータ及び1つの送風ファンを有する送風装置と、を有することを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、簡易な装置構成により、複数種の芳香を確実に放出させることができるという効果を奏する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

複数種の香料を個別に収容可能でかつ、それぞれが芳香を外部に放出する放出口を有する複数の香料容器と、

前記複数の香料容器それを個別に着脱可能に収容する香料容器収容室と、

前記香料容器収容室に収められた前記複数の香料容器の夫々について個別に、前記放出口を塞ぐ閉塞状態と前記放出口を開放させる開放状態とを作出可能な香料放出機構と、

前記複数の香料容器の前記放出口に対する送風を行なうために共通して設けられた、1つの送風用モータ及び1つの送風ファンを有する送風装置と、

を有することを特徴とする芳香装置。

**【請求項 2】**

前記複数の香料容器それは、芳香を外部に放出する放出口と空気の供給口とを有し、

前記香料放出機構は、前記香料容器収容室に収められた前記複数の香料容器の夫々について個別に、前記供給口及び前記放出口を塞ぐ前記閉塞状態と、前記供給口及び前記放出口を前記送風ファンから送風される空気の通路中に開放させる前記開放状態とを作出可能である、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の芳香装置。

**【請求項 3】**

前記香料容器収容室は、前記複数の香料容器それぞれに対応して複数設けられるとともに、夫々が開口部を有し、

前記香料放出機構は、前記香料容器の放出口と前記香料容器収容室の開口部との位置関係を変化させることにより、前記閉塞状態と前記開放状態とを作出する、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の芳香装置。

**【請求項 4】**

前記香料容器収容室に対して前記香料容器を移動させる容器開口用モータを備え、

前記香料放出機構は、前記容器開口用モータにより前記香料容器を移動させることで、前記供給口及び前記放出口の両方を同時に開閉する、

ことを特徴とする請求項 3 に記載の芳香装置。

**【請求項 5】**

前記香料放出機構は、外部からの指示に応じて前記閉塞状態と前記開放状態とを選択的に作出す、

ことを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の芳香装置。

**【請求項 6】**

前記各香料容器から放出された複数種の芳香をブレンドするブレンド室と、

前記ブレンド室でブレンドされた芳香を装置外部に放出する外部放出口と、

を備えたことを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載の芳香装置。

**【請求項 7】**

前記香料容器収容室が周囲に配置された香料収容室を備え、

前記香料収容室は、前記複数の香料容器収容室それぞれに対応して、前記送風ファンから送風される空気の通路に面して設けられた開口部を有し、

前記香料放出機構は、外部からの指示があったときのみ、前記供給口が前記開口部に合う位置まで、前記香料容器収容室内に収容された前記香料容器を移動させて、前記供給口が前記香料収容室に開放され前記放出口が前記ブレンド室に開放された開放状態を作出することを特徴とする請求項 6 に記載の芳香装置。

**【請求項 8】**

前記送風ファンは、前記装置筐体の底部に配置されるとともに、当該装置筐体内の上方に向かって送風するように構成され、前記ブレンド室は、前記香料収容室の上部に隔壁を隔てて設けられていることを特徴とする請求項 6 又は請求項 7 に記載の芳香装置。

**【請求項 9】**

前記複数の香料容器収容室それぞれは、上部が前記ブレンド室に向けて開放され、前記香料放出機構は、前記閉塞状態において各香料容器に設けられた前記放出口を前記香料容器収容室内にて塞ぎ、外部からの指示があったときのみ、前記各香料容器を上方向に移動させて、前記放出口を前記ブレンド室に開放させて開放状態とすることを特徴とする請求項6から請求項8のいずれか一項に記載の芳香装置。

【請求項10】

前記香料容器は、

香料を収容するとともに第1の供給口及び第1の放出口が設けられた外ケースと、

前記第1の供給口及び前記第1の放出口に対応する位置に第2の供給口及び第2の放出口が設けられるとともに前記外ケース内から前記香料を吸い上げる吸い上げ芯を底部から突出させた中ケースと、

を有し、

前記吸い上げ芯の先端部が前記外ケース内に収容された香料に浸された状態となるよう前記中ケースを前記外ケースに挿入してなり、

前記中ケースが前記外ケースに挿入された状態において、前記供給口は、前記外ケースの前記第1の供給口と前記中ケースの前記第2の供給口とで構成され、前記放出口は、前記外ケースの前記第1の放出口と前記中ケースの前記第2の放出口とで構成されることを特徴とする請求項1から請求項9のいずれか一項に記載の芳香装置。